

川崎市登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区基本構想の概要

1. 経緯

平成20年2月29日作成

平成20年2月29日公表

2. 川崎市の概要（平成18年3月末現在）

人口 1,330,311人 世帯数 597,523世帯 144.35ha

高齢者数 203,498人（15.3%）（全国平均20.0%）

身体障害者数 27,667人（2.1%）（全国平均2.6%）

知的障害者数 5,483人（0.4%）（全国平均0.3%）

精神障害者数 12,437人（0.9%）（全国平均0.5%）

3. 旅客施設及び重点整備地区の概要

①旅客施設

JR南武線登戸駅（1日平均利用者数134,878人、平成16年度）

小田急小田原線登戸駅（1日平均利用者数133,082人、平成16年度）

小田急小田原線向ヶ丘遊園駅（1日平均利用者数61,824人、平成16年度）

②重点整備地区の概要

重点整備地区の面積 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 71.0ha

主な施設 駅前広場、多摩区役所、多摩病院

重点整備地区の選定理由

- ・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺は、本市の総合計画である「川崎再生フロンティアプラン」において「地域生活拠点」に位置づけられており、地域連携型の都市構造の実現に向け、駅を中心としたまちづくりに対する重点的な取り組みが必要な地区である。
- ・第一次シード群でもある登戸駅は、乗降客数が約268,000人/日で市内第4位と非常に多く、向ヶ丘遊園駅についても約62,000人/日（市内第7位）と多くの乗降客数を有する駅である。
- ・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺では、現在、土地区画整理事業による基盤整備が進められており、また、向ヶ丘遊園駅における自由通路の整備についても検討されている。
- ・登戸駅の多摩川口に近接してバス停留所があり、生田緑地口にはタクシー乗降場があるが、生田緑地口については土地区画整理事業の中で駅前広場の整備が計画されている。また、向ヶ丘遊園駅の北口には暫定の駅前広場としてバス及びタクシーの乗降場が整備されており、土地区画整理事業の中で整備が計画されている。南口にもバスターミナルが整備されており、両駅とも公共交通の主要な結節点となっている。

4. 川崎市登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区基本構想の特徴

- ・バリアフリー化が必要な目的施設までの経路を「バリアフリー化経路」として位置づけ、可能な限りバリアフリー法に基づく基準等に適合した整備を実施する。
- ・目的施設以外のその他の公共的施設についても、あらゆる機会を捉えて、その地域に応じたバリアフリー化を推進する。
- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律の施行をふまえ、建築物特定事業及び都市公園特定事業を位置づけ、公共交通施設や経路とあわせて移動円滑化を図ることとした。

5. 事業の概要

① 事業の目標年次

- ・以下に示す事業について、各事業者は、基本構想の内容に即して事業計画を作成し、平成22年を目標に事業の推進を図る。

② 公共交通特定事業

位置	事業内容	事業者
小田急登戸駅	・エスカレーターの音声案内の設置 ・駅構内案内図の設置 ・列車接近を警告する表示装置の設置	小田急電鉄(株)
向ヶ丘遊園駅	・ホーム及び駅南口スロープの視覚障害者誘導用ブロックの補修	小田急電鉄(株)
バス車両	・ノンステップバスの導入	川崎市営バス
		東急バス(株)
		小田急バス(株)
		神奈川中央交通(株)
バス停での情報提供	・バス停留所案内表示の改善	川崎市営バス
		東急バス(株)
		小田急バス(株)
		神奈川中央交通(株)

③ 道路特定事業

位置	事業内容	事業者
生活関連経路	・視覚障害者誘導用ブロックの敷設	道路管理者(川崎市)
バリアフリー経路	・視覚障害者誘導用ブロックの敷設・改善 ・歩道舗装の平坦性の確保 ・歩道の勾配の改善	
向ヶ丘遊園駅南口駅前広場	・歩道舗装の平坦性の確保 ・視覚障害者誘導用ブロックの改善 ・タクシー乗り場の段差の改善	

④ 都市公園特定事業

位置	事業内容	事業者
生田緑地東口駐車場	・看板の移設	川崎市

⑤ 建築物特定事業

位置	事業内容	事業者
福祉パルたま	・案内の改善の検討	川崎市

⑥ 交通安全特定事業

位置	事業内容	事業者
生活関連経路	<ul style="list-style-type: none"> ・音響式信号機等の設置 ・違法駐車取締りの強化 ・違法駐車防止に対する広報・啓発活動の推進 ・標識・標示の視認性の確保 ・交通規制の実施 	神奈川県公安委員会

⑦ その他の事業

位置	事業内容	事業者
重点整備地区内	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策 ・商品や看板の歩道上へのはみ出し解消 ・自転車利用のルールとマナーに関する教育・啓発活動の推進 	川崎市 多摩区 地元関係者
向ヶ丘遊園駅南口 駅前広場	・バス乗り場案内図の改善	川崎市 多摩区 川崎市営バス
	・南口（東口）名称の統一	川崎市 小田急電鉄(株) 東急バス(株) 小田急バス(株) 川崎市営バス
バリアフリー経路	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者誘導用ブロックの改善 ・ゴミ集積所の移設 ・電柱の移設 	地元関係者 施設管理者
せせらぎ館	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者誘導用ブロックの敷設 ・トイレの改善 	川崎市 施設管理者
福祉パルたま	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者誘導用ブロックの改善、連続性確保 ・平坦性の改善 	東日本旅客鉄道(株)
公共交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への対応・介助に関する職員の教育訓練の充実 	東日本旅客鉄道(株) 小田急電鉄(株) 東急バス(株) 小田急バス(株) 神奈川中央交通(株) 川崎市営バス タクシー事業者

⑧ その他考慮すべき事項

- ・土地区画整理事業とバリアフリー基本構想に基づく事業の整合について
- ・都市計画道路（土地区画整理区域外）の推進について
- ・向ヶ丘遊園駅周辺における回遊性の向上について

6. 法第25条第7項に定められている機関との協議

① 公共交通事業者等

東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	平成20年2月20日協議成立
小田急電鉄株式会社	平成20年2月13日協議成立
東急バス株式会社	平成20年2月20日協議成立
小田急バス株式会社	平成20年2月18日協議成立
神奈川中央交通株式会社	平成20年2月29日協議成立
川崎市交通局	平成20年2月 5日協議成立

② 道路管理者

川崎市建設局	平成20年2月20日協議成立
川崎市多摩区	平成20年2月14日協議成立

③ 公園管理者

川崎市環境局	平成20年2月18日協議成立
--------	----------------

④ 建築主等

川崎市健康福祉局	平成20年2月19日協議成立
----------	----------------

⑤ 都道府県公安委員会

神奈川県公安委員会	平成20年2月25日協議成立
-----------	----------------

7. 法第26条に定められている協議会の有無

有

無: 同条に準ずる「基本構想策定検討委員会」を設置

8. 利用者の意見の反映

① 基本構想の策定にあたって、川崎市バリアフリーのまちづくり協議会及び登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区基本構想策定検討委員会を開催し、以下に示す団体メンバーと公募市民の参画により検討を実施（協議会2回、委員会3回）

- ・川崎市身体障害者協会
- ・川崎市肢体不自由児者父母の会連合会
- ・川崎市心身障害者地域福祉協会
- ・川崎市老人クラブ連合会
- ・子育て団体、まちづくり団体、町内会、商店街

② 高齢者、障害者をはじめとする市民の方々、事業者、その他関係者の参加のもと、まち歩き点検ワークショップを実施し、重点整備地区における具体的な問題点や課題の把握を行った。

- ・実施日：平成19年7月18日（水）
- ・参加者数：約70名

③ パブリックコメントを平成19年10月22日から11月20日まで行い、7件の意見が寄せられた。

④ 反映された主な事項

- ・地区内における公共的施設の利用状況を踏まえて、目的となる施設を設定した。
- ・「その他考慮すべき事項」に向ヶ丘遊園駅周辺における回遊性の向上について追加した。

9. その他

- ① 法第27条による提案の有無 無
- ② 法第41条による協定の有無 無